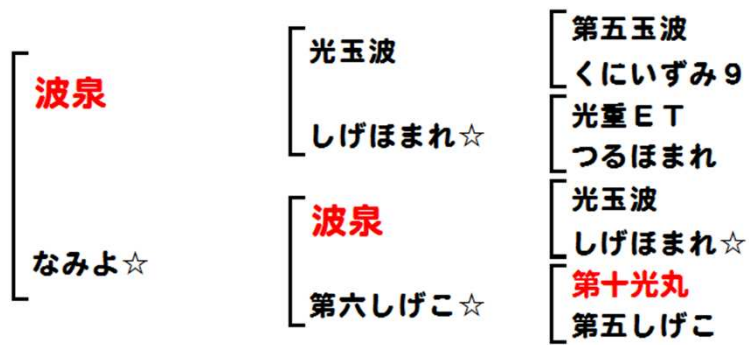


熊本県で開発した新技術

熊本県農業研究センター

2019

あかげ しげなみいずみ 褐毛和種種雄牛 「重波泉」の選抜



問 研究のねらいは？

答 熊本県で昔から多く飼われている褐毛和種について、その牛肉の生産性・品質向上を図るため、優秀な種雄牛を選抜しました。

問 本牛の特徴は？

答 ロース芯面積が去勢、雌ともに歴代最高の成績を記録！枝肉重量や脂肪交雑においても優れた能力を持っており、肉質・肉量両面で改良への貢献が期待できる種雄牛です。

【現場後代検定成績】

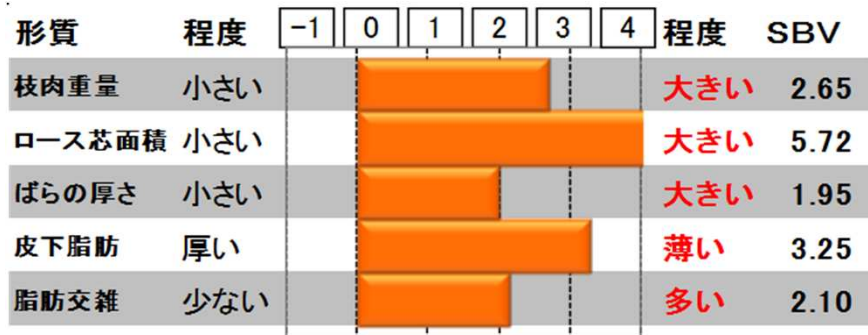
(単位: kg, cm², cm)

| | 頭数 | 出荷月齢 | 枝肉重量 | ロース芯面積 | ばらの厚さ | 皮下脂肪厚 | 歩留基準値 | BMSNo. | 肉質等級(3等級以上) |
|----|-----|------|-------|--------|-------|-------|-------|--------|-------------|
| 去勢 | 7 頭 | 25.4 | 532.5 | 73.0 | 7.9 | 2.0 | 75.7 | 4.10 | 57.1% (4/7) |
| 雌 | 9 頭 | 25.6 | 477.5 | 63.0 | 7.8 | 2.7 | 74.5 | 3.60 | 44.4% (4/9) |

【産子の枝肉】



| | |
|--------|-------------------|
| 性別 | 去勢 |
| 枝重 | 547kg |
| ロース | 83cm ² |
| バラ厚 | 8.6cm |
| BMSNo. | 6 |
| 等級 | A-4 |



標準化育種価 (SBV) とは？

育種価(遺伝的能力)を明確化した数値
1を超えるとその特徴を持つといえる